

清水宗治 VS 羽柴秀吉

「備中高松城の戦い」

2024
5・10(金)ー6・16(日)

学芸員による展示解説

「申込不要・各日午後2時〜3時」

5月18日(土)・25日(土)
6月8日(土)・15日(土)

無料開館!
5月18日(土)
国際博物館の日

今から約440年前の天正10(1582)年4月〜6月にかけて、備中高松城(岡山市北区高松)を巡って、日本の歴史に残る戦いが繰り広げられました。

籠城した清水宗治(1537〜82)は、中国地方の大穴名毛利氏の最前線を守る代表として、一方、羽柴秀吉も全国に勢力を伸ばしていた織田信長の先鋒として、どちらも譲ることができない戦いとなりました。6月2日には本能寺の変が起こり、その後には和睦が取り交わされました。清水宗治と兄、毛利氏家臣が切腹することで、多くの城兵の命が救われたのです。

今回のテーマ展では、清水宗治と羽柴秀吉にゆかりある資料を中心に展示を行い、当時の戦いについてご紹介いたします。



備前焼
備前名刀

主な展示資料(○は岡山県指定重要文化財)

- 大太刀 銘 備州長船秀幸 長禄 3(1459)年 吉備津神社蔵(伝清水宗治奉納)
- 宝福寺寺領検地帳 天正 4(1576)年 宝福寺蔵
- 清水宗治書状 天正 8(1580)年11月 吉備津神社蔵
- 羽柴秀吉掟書 天正 10(1582)年3月 龍昌院蔵

署名花押：岡山市吉備津神社所蔵古文書より引用
写真：清水宗治首塚(岡山市北区高松)

〈会場〉岡山県立博物館 2階展示室
〈開館時間〉午前9時〜午後6時
〈入館料〉大人 250円、65歳以上 120円、高校生以下無料
〈休館日〉月曜日

同時開催 平常展「岡山の歴史と文化」
第1展示室「古代吉備の世界ー岡山県内出土の考古資料ー」
第2展示室「幕末維新までの岡山の歴史」、「昔の暮らしと道具」、「室戸台風の爪あと」
第3展示室「備前焼」、「備前の名刀」
第4展示室「木喰仏と神像」

